

平成28年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名		小牧市農業集落排水事業特別会計繰出金						担当部		上下水道部											
	会計区分		一般会計			事業類型		施設整備系		担当課		下水道課										
	事業期間		平成12年度以前			～			平成31年度以降			担当係		庶務係								
	総合計画 新基本計画	施策等	6 都市基盤		25 下水道		1 公共下水道の普及を推進します															
			重点事業				実施計画事業		○													
	予算区分		款		6		項		1		目		4		大		5		中		1	
	根拠法令・個別計画		公共下水道事業繰出金の運用について(通知)																			
	目的	何・誰を対象に		農業集落排水区域																		
		どの様な状態にするのか		農業用排水の水質保全、農村生活環境の改善及び公共水域の水質保全のため農業集落排水区域内の普及を推進し施設の適切な管理を行う。																		
	内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか		◇H27年度の実施内容 総支出額から自主財源(使用料、受益者分担金)の不足分を繰出金にて賄っている。 主なものは平成16年度までの借入元金・利息28,632千円(元金 21,513千円 利息7,119千円)、大草浄化センターの維持管理費 23,702千円のうちの10,878千円、人件費 4,680千円(全額)の繰出金を受けている。  [H27年度繰出金] ・一般管理費 人件費 4,680千円 一般事務費 329千円 維持管理費 10,878千円 ・建設費 排水整備事業 149千円 起債償還元金 21,513千円 起債償還利子 7,119千円 その他 3,940千円 合 計 48,608千円 [H28年度繰出金] ・一般管理費 人件費 5,039千円 一般事務費 422千円 維持管理費 26,115千円 ・建設費 排水整備事業 4,263千円 起債償還元金 21,914千円 起債償還利子 6,719千円 その他 3千円 予備費 1,000千円 合 計 65,475千円																			
受益者負担		有 一戸当たり 296,000円 H27年度収入済額 1,184千円																				

コスト	費用	直接経費		単位	H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28予算額
		正職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	51,987	49,525	48,608	65,475
		対前年比		%		95.2	98.1	134.7
	財源	一般財源		千円	51,987	49,525	48,608	65,475
		国・県支出金		千円	0	0	0	0
		その他財源		千円	0	0	0	0

業 績	活動指標名	単位		H25	H26	H27	H28
	マンホールポンプ整備	基	目標	2	2	1	1
			実績	0	1	0	
	日常定期点検実施日数	日	目標	104	104	104	105
			実績	104	104	104	
			目標				
			実績				
	成果指標名	単位		H25	H26	H27	H28
	接続率 (実質接続率[空家,更地等除])	%	目標	80	80	80	80
			実績	73.3%(75.7%)	75.5%(78.3%)	77.1%(80.1%)	
重大な事故及び故障 (運転不能)の発生件数	件	目標	0	0	0	0	
		実績	0	0	0		

事業の自己評価	平成27年度の実施結果	事業の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接続率は77.1%(前年比1.6ポイント増)となった。</li> <li>・マンホールポンプ整備は、必要箇所の接続申請がなかったため実施しなかった。</li> <li>・大草浄化センターは、日常点検を実施する中、処理施設等保守管理、電気保安管理、受配電設備保守点検、水質測定器保守点検、特別管理廃棄物処理業務及び汚泥処理業務など良好な維持管理を行うことができた。</li> </ul>	
		事業実施における課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区の住民に接続依頼を行っているが、人口減少地区であり高齢化が進んでいるため、接続率の飛躍的な向上は望めない。</li> <li>・一般管理費(1・1・1)、維持管理費(1・1・2)に対して自主財源(使用料、分担金)の比率が42.1%と採算性が低い。</li> <li>・各設備の保守点検を実施しているが、施設稼働後10年が経過するので、随時主要設備の取替が必要となっている。</li> </ul>	
		基本施策の展開方向の目的に対する影響(貢献等)	接続率が上昇したことに加え、適切な施設の維持管理を行ったことで、河川や水路などの公共用水域の水質保全が図れた。	
	平成28年度の改善内容	28年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	引き続き未接続世帯に対して接続促進をするとともに維持管理費の削減に努める。担当職員は専門的な知識を得るための研修に参加し、施設を維持管理するために必要な資格を取得させる。	
	平成29年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
		判定理由	大草地区の汚水を処理する施設として市民の生活環境上重要な施設であり、当該地区の公衆衛生の維持・向上のため農業集落排水施設の維持管理は必要不可欠である。	
		29年度以降の改善案	引き続き接続率の向上を図るとともに、現施設の効率的な維持管理に努める。また、採算性を考慮し、将来の公共下水道への接続について調査・研究する。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおりに。